

募集要項

1. 概要・趣旨

一般社団法人全国農業会議所は、農業分野の外国人材受入れの促進を目的に、農林水産省の事業にて海外での現地説明・相談会を開催しています。

現地の送出機関や教育機関の生徒・職員などに対し、技能実習や特定技能といった日本の外国人材受入れ制度を周知し、農業で働く魅力を PR することが主な目的です。

この度、ネパール・カトマンズでの開催が決定し、日本の受入れ機関（農業者、派遣会社）の参加を募集いたします。

参加される皆さまには、日本農業の働く環境や魅力を伝えていただくとともに、次のようなことを趣旨に現地機関や人材と交流いただきます。

- ネパールの人材送り出し事情を知る
- 現地の人材と直接交流し雰囲気把握する
- 現地の送出機関とつながって人材確保につなげる

2. 行程表 ※●の付いている訪問先は訪問日程が変更する場合があります。

11月19日(木)	
22:00 集合	羽田空港第3ターミナル 3階出発ロビー 搭乗手続き (■カウンター)、手荷物預入、手荷物検査、出国審査等
11月20日(金)	
羽田空港	
日本時間 00:20 発	羽田空港 TG661 便 ✈
タイ時間 05:25 着	バンコク/スワンナプーム空港 ✈ フライト時間：6 時間 55 分 ✈ 日本とタイ時差：2 時間
	<乗り継ぎ>
タイ時間 10:15 発	TG319 便 ✈
現地時間 12:25 着	トリブバン国際空港 ✈ フライト時間：3 時間 25 分 ✈ 日本とネパール時差：3 時間 15 分
	バス 🚌 で移動
15:00 着	ホテルヒマラヤ HP: https://hotelhimalaya.com/
16:00	●Moless 表敬 (仮)
11月21日(土)	
8:00 発	ホテル
09:30~10:30	●ヒメベリー (日本人経営いちご農園) 訪問 (仮) https://maps.app.goo.gl/QA5TeAUTSnj6AnXZ7
10:30~12:00	帰路
12:00	昼食

13:00~17:00	<説明・相談会（ジョブフェア）> ヒマラヤホテルでの送出機関（候補生・職員）向け説明・相談会
18:00	*開始時間について要相談 夕食「ALICE Restaurant Pulchowk」*ホテルから徒歩 6 分 https://maps.app.goo.gl/8XXPWAqx9ejeYS3j6
11 月 22 日 (日)	
08:30 発	ホテルチェックアウト <送出機関/日本語学校の視察>
09:00-10:00	大日本アカデミー（日本語学校グループ） https://maps.app.goo.gl/R9UXvvfUPc7XtzHYA
10:00-10:30	移動
10:30-11:30	HRN Group & Management Company（送出機関・日本語学校グループ） https://maps.app.goo.gl/ZEgQuao9wZJwR3W98
11:30-13:30	昼食
13:30-18:30	チトワン移動
18:30	ホテル着（仮：Royal Tulip Chitwan Nepal） https://maps.app.goo.gl/yQCJAAtMVGjAs7KW77
19:00	夕食
11 月 23 日 (月)	
08:00 発	ホテル
08:00-13:00	移動&昼食（ホテルレストランを想定） <セッション1 &視察>
13:00-15:00	AFU（Agriculture and Forestry University/農業林業大学）
15:30-20:30	カトマンズへ戻り
20:30	夕食 ホテルチェックイン（ホテルヒマラヤを想定）
11 月 24 日 (火)	
07:45	チェックアウト&ホテル出発 <セッション2 &送出機関の視察>
09:30-11:30	カトマンズ大学 会場：Nepal Technology Innovation Center(NTIC) https://maps.app.goo.gl/QJLFkX44McZ77FLp8
09:00-11:00	
11:30-12:30	昼食（カトマンズ大学）
12:30-14:00	移動
14:00-15:00	Blue Sky International（送出機関） https://maps.app.goo.gl/V23VKYtP4afKNuCG8

15:00-16:00	移動	
16:00-17:00	Ministry of Labour, Employment and Social Security(MOLESS)	
	https://maps.app.goo.gl/LFAa7sUtV3gzZUEy7	
17:00-20:00	夕食・土産「Baber Mahal Revisited」	
	https://maps.app.goo.gl/Wqc3GAnNVBSvhi1q8	
20:00-21:00	空港へ移動	
21:00	トリブバン国際空港 到着	
11月25日(水)		
現地時間 00:25 発	トリブバン国際空港 TG310 便	 フライト時間：3 時間 30 分 
タイ時間 05:25 着	バンコク/スワンナプーム空港	ネパールとタイ時差：1 時間 15 分
	<乗り継ぎ>	
タイ時間 08:15 発	バンコク/スワンナプーム空港 TG676 便	 フライト時間：5 時間 50 分 
		日本とタイ時差：2 時間
日本時間 15:50 着	成田空港	

3. 参加申込方法

①以下の参加申込ページにアクセスしてください。

https://ntour.jp/nepal-recruitment_26/

②本募集要項又は申込ページの内容をよく確認し、「参加登録」ボタンから必要事項を入力してください。

申込締切：2026 年 11 月 5 日（木）

③入力したメールアドレスに参加登録の案内が届きます。

※申込多数の場合、抽選等とさせていただきます。

④その後の段取りは個別にご連絡差し上げます。

<参加費用>

- 参加費は無料です。
- 渡航・宿泊・食事にかかる経費は各自ご負担ください。
- 相談会に対応した受入れ機関には 1 経営体につき、30,000 円の謝金を後日支払います。

<参加資格>

- 技能実習や特定技能などで既に外国人材を受け入れている、又は受け入れる意向があると認められること。
- 本説明・相談会の趣旨を理解し、事前及び当日の行程について主催者と連絡調整し、指示にしたがうこと。

※監理団体・登録支援機関の方へ

監理団体・登録支援機関については、参加する農業経営体と契約しており随行者として登録いただいた場合や、本説明会の趣旨である日本農業で働く環境の説明や相談対応が可能な場合に、参加可能としております。

4. ネパールへの渡航方法について

(1) 主催者とともに下記の日程に沿って同行し、渡航・参加する

ご希望の場合は、主催者と同様の航空券、ホテルを旅行会社が手配しますので、申込登録時に、その旨を選択ください。

現地での移動は、すべて手配したバスに乗りいただけます。

【代理手配する際の必要経費（概算額）】

航空券…約 25～29 万円（手配時期により実勢価格は変動します）

宿泊費…約 1 万 5 千円× 4 泊分

食事代…実費相当

合 計…約 33 万円

(2) 所定の日時に自身で会場に向かい、自由な旅程で参加する

航空券や宿泊、現地の移動は原則各自でご対応ください。

主催者の宿泊ホテルまたは近隣のホテルをご利用の場合は、現地の移動バスに乗りいただくことも可能です。（要相談）

5. 免責事項

本説明・相談会への参加によって損害等を被った場合、全国農業会議所では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

6. その他

本事業の年間契約や各国の特徴などを↓のサイトからご覧いただけます。

<https://agri-gaikokujinzai.info/>

[参考]ネパールの国民性と人材の特徴

① 若く、海外での就労に意欲的な人材が豊富

ネパールは、人口の年齢中央値が約 26 歳の若い国です。国内では毎年多くの若者が労働市場に参入する一方、十分な雇用機会が限られていることから、海外での就労を積極的に希望する人材が多く存在します。海外就労はネパール社会に広く定着しており、外国で働きながら技能を身につけ、家族の生活を支えることは、若者にとって一般的なキャリアの選択肢となっています。このため、海外で生活し、異なる文化や職場環境に適応することに前向きな人材を確保しやすいことが特徴です。

② 農業や家畜飼育に親しんだ人材が多い

ネパールでは、農業が現在も主要産業の一つであり、多くの家庭が農作物の栽培や家畜の飼育に関わっています。地方出身者の中には、家族農業を手伝いながら育ち、稲、トウモロコシ、小麦、野菜、果樹などの栽培や、牛、水牛、山羊、鶏などの飼育を日常的に経験している人も少なくありません。そのため、農作業や屋外作業に抵抗が少なく、農業の仕事を具体的にイメージできる候補者を募集しやすい環境があります。

③ 日本への関心が高く、日本語学習に意欲的

ネパールでは、日本は安全で信頼性が高く、技能を身につけながら働くことのできる国として認識されています。日本への留学や就労を希望する若者も多く、日本語教育機関も数多く存在します。特に、単に高い収入を得るだけでなく、日本の技術、仕事の進め方、品質管理、農業機械の操作などを学びたいと考える人材もいます。募集段階で日本での仕事内容や生活環境、将来のキャリアを具体的に説明することにより、目的意識を持った人材の確保が期待できます。

■ 日本で働く労働者数（技能実習及び特定技能）

技能実習：3,089 人（技能実習全体の 1.0%）、うち農業分野 110 人

特定技能：12,387 人（特定技能全体の 3.2%）、うち農業分野 787 人

技能実習の 2024 年でのデータ・特定技能が令和 7 年 12 月末（2025 年）

■ 送出機関の数

技能実習（SO：送出機関）：1,120 機関

*技能実習の送出機関数は外国人技能実習機構（OTIT）が公開しているリストによるものであり現時点において有効な仲介を担っていることが保証されている機関を示すものではありません。